

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

国立民族学博物館研究報告 vol.5-3; 表紙, 目次ほか

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立民族学博物館, National Museum of Ethnology 公開日: 2010-02-16 キーワード: 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009252

1980・9 5_卷3_号

国立民族学博物館 研究報告

- Satawal 島における伝統的航海術——その基本的知識の記述と分析—— 秋道智彌
- チベウアイアのトナカイ狩猟活動系——生態人類学的視点から—— 煎本 孝
- フルベ族の牧畜と農耕をめぐる諸問題
——ジェンゲルベ・グループの生業に関する民族誌的研究—— 小川 了
- コーヒー・ドーナツ・プロジェクト
——心理の図形化手法についての研究ノート—— 小山修三
- 国立民族学博物館所蔵の労働衣服——国内収集の上半衣について—— 西村綏子
- 国立民族学博物館所蔵の労働衣服——国内収集の下半衣について—— 日浅治枝子
- 国立民族学博物館所蔵の労働衣服——とくに刺子の形態・染織の分析—— 山崎光子
- A Preliminary Survey of Fish Cultivation in Ricefields,
with Special Reference to West Java, Indonesia—— RIDDLE, Kenneth



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里万国博記念公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

5 卷 3 号

1980年9月

目 次

Satawal 島における伝統的航海術 ——その基本的知識の記述と分析——	秋道 智彌	617
チペワイアンのトナカイ狩猟活動系 ——生態人類学的視点から——	煎本 孝	642
フルベ族の牧畜と農耕をめぐる諸問題 ——ジェンゲルベ・グループの生業に関する民族誌的研究——	小川 了	667
コーヒー・ドーナツ・プロジェクト ——心理の図形化手法についての研究ノート——	小山 修三	712
国立民族学博物館所蔵の労働衣服 ——国内採集の上半衣について——	西村 綏子	729
国立民族学博物館所蔵の労働衣服 ——国内採集の下半衣について——	日浅治枝子	751
国立民族学博物館所蔵の労働衣服 ——とくに刺子の形態・染織の分析——	山崎 光子	778
A Preliminary Survey of Fish Cultivation in Ricefields, with Special Reference to West Java, Indonesia	RUDDLE, Kenneth	801
彙 報		823
国立民族学博物館研究報告寄稿要項		830
国立民族学博物館研究報告執筆要領		831

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 5 No. 3

September 1980

AKIMICHI, Tomoya	Fundamentals of Satawalese Navigational Knowledge	617
IRIMOTO, Takashi	An Ecological Approach to the Chipewyan Caribou Hunting System	642
OGAWA, Ryo	Some Problems of the Pastoralism and Agriculture of the Fulbe – Jenngelbe of Senegal: A Case Study	667
KOYAMA, Shuzo	Coffee and Doughnut Project—A Note and Comment on Preferential Pattern Analysis—.....	712
NISHIMURA, Yasuko	Some Observations on the Japanese <i>Kimono</i> as Working-Clothes	729
HIASA, Chieko	<i>Yamabakama</i> , Japanese Traditional Trousers	751
YAMAZAKI, Mitsuko	Notes on <i>Sashiko</i> Clothes in Japan	778
RUDDLE, Kenneth	A Preliminary Survey of Fish Cultivation in Ricefields, with Special Reference to West Java, Indonesia	801

彙 報

(昭和55年4月～
昭和55年6月)

人事異動

(行政職) (昇任)

4月1日 管理部庶務課長 久保庭伊佐男
(文化庁長官官房庶務課)
(配置換)

4月1日 富山大学庶務部人事課長 永野
茂信(管理部庶務課長)

(教育職) (採用)

4月1日 助手 長野泰彦
助手 大塚和夫
助手 庄司博史
(配置換)

4月1日 第2研究部教授 岩田慶治(東京工業大学教授 工学部)
第4研究部助教授 友枝啓泰
(第2研究部助教授)
第4研究部助手 須藤健一(第3研究部助手)
第4研究部助手 山本紀夫(第3研究部助手)

研究部長・情報管理施設長の異動

情報管理施設長 佐々木高明
(55.6.7～56.6.6)

運営協議員の異動

氏名 任期

石川 栄吉 (53. 9.15～55. 9.14)
伊藤 清司 (53. 9.15～55. 9.14)
岩田 慶治 (55.4.1付で配置換・国立民族学博物館教授)
大島 襄二 (53. 9.15～55. 9.14)
甲田 和衛 (53. 9.15～55. 9.14)
白鳥 芳郎 (53. 9.15～55. 9.14)
富川 盛道 (53. 9.15～55. 9.14)
中根 千枝 (53. 9.15～55. 9.14)
藤岡 喜愛 (53. 9.15～55. 9.14)
吉田 禎吾 (53. 9.15～55. 9.14)

石井 米雄 (55. 5.16～57. 5.15)
蒲生 正男 (55. 5.16～57. 5.15)
伊藤 幹治 (53. 9.15～55. 9.14)
大給 近達 (53. 9.15～55. 9.14)
佐々木高明 (53. 9.15～55. 9.14)
祖父江孝男 (53. 9.15～55. 9.14)
和田 祐一 (53. 9.15～55. 9.14)
加藤 九祚 (54. 4. 1～56. 6.31)
君島 久子 (54. 4. 1～56. 3.31)
竹村 卓二 (54. 4. 1～56. 3.31)
杉本 尚次 (54. 4. 1～56. 3.31)

企画委員の異動

氏名 任期

古山 寿夫 (55. 4. 1～56. 3.31)

館内各種委員会委員の異動

標本資料収集委員会

氏名 任期

伊藤 幹治 (55. 4. 1～56. 3.31)
杉村 棟 (55. 4. 1～56. 3.31)
福井 勝義 (55. 4. 1～56. 3.31)
小谷 凱宣 (55. 4. 1～56. 3.31)
須藤 健一 (55. 4. 1～56. 3.31)
松山 利夫 (55. 4. 1～56. 3.31)
宮本 勝 (55. 4. 1～56. 3.31)
佐々木高明 (54. 6. 1～)
稲井 豊秀 (54. 6. 1～)
佐藤 秀夫 (54.11. 1～)

映像音響資料収集委員会

氏名 任期

伊藤 幹治 (55. 4. 1～56. 3.31)
端 信行 (55. 4. 1～56. 3.31)
藤井 知昭 (55. 4. 1～56. 3.31)
大森 康宏 (55. 4. 1～56. 3.31)
櫻井 哲男 (55. 4. 1～56. 3.31)
山本 順人 (55. 4. 1～56. 3.31)
石森 秀三 (55. 4. 1～56. 3.31)
佐々木高明 (54. 6. 1～)
稲井 豊秀 (54. 6. 1～)

佐藤 秀夫 (54.11. 1～)

図書委員会

氏名	任期
伊藤 幹治	(55. 4. 1～56. 3.31)
岩田 慶治	(55. 4. 1～56. 3.31)
竹村 卓二	(55. 4. 1～56. 3.31)
和田 祐一	(55. 4. 1～56. 3.31)
守屋 毅	(55. 4. 1～56. 3.31)
井狩 彌介	(55. 4. 1～56. 3.31)
友枝 啓泰	(55. 4. 1～56. 3.31)
大丸 弘	(55. 4. 1～56. 3.31)
佐々木高明	(54. 6. 1～)
稲井 豊秀	(54. 6. 1～)
佐藤 秀夫	(54.11. 1～)

資料管理委員会

氏名	任期
佐々木高明	(55. 4. 1～56. 3.31)
中村俊亀智	(55. 4. 1～56. 3.31)
大塚 和義	(55. 4. 1～56. 3.31)
藤井 龍彦	(55. 4. 1～56. 3.31)
森田 恒之	(55. 4. 1～56. 3.31)
煎本 孝	(55. 4. 1～56. 3.31)
小川 了	(55. 4. 1～56. 3.31)
秋道 智彌	(55. 4. 1～56. 3.31)
佐藤 秀夫	(54.11. 1～)
坂東 瑞昭	(54. 6. 1～)

情報システム委員会

氏名	任期
佐々木高明	(55. 4. 1～56. 3.31)
松澤 員子	(55. 4. 1～56. 3.31)
栗田 靖之	(55. 4. 1～56. 3.31)
江口 一久	(55. 4. 1～56. 3.31)
小山 修三	(55. 4. 1～56. 3.31)
杉田 繁治	(55. 4. 1～56. 3.31)
山本 順人	(55. 4. 1～56. 3.31)
八村廣三郎	(55. 4. 1～56. 3.31)
福川 圭子	(55. 4. 1～56. 3.31)
稲井 豊秀	(54. 6. 1～)
佐藤 秀夫	(54.11. 1～)
坂東 瑞昭	(54. 6. 1～)

展示委員会

氏名	任期
祖父江孝男	(55. 4. 1～56. 3.31)
大給 近達	(55. 4. 1～56. 3.31)
杉本 尚次	(55. 4. 1～56. 3.31)
大塚 和義	(55. 4. 1～56. 3.31)
黒田 悦子	(55. 4. 1～56. 3.31)
石毛 直道	(55. 4. 1～56. 3.31)
野村 雅一	(55. 4. 1～56. 3.31)
大胡 修	(55. 4. 1～56. 3.31)
中牧 弘允	(55. 4. 1～56. 3.31)
関本 照夫	(55. 4. 1～56. 3.31)
吉田 集而	(55. 4. 1～56. 3.31)
吉本 忍	(55. 4. 1～56. 3.31)
伊東 一郎	(55. 4. 1～56. 3.31)
大塚 和夫	(55. 4. 1～56. 3.31)
大森 康宏	(55. 4. 1～56. 3.31)
八村廣三郎	(55. 4. 1～56. 3.31)
木村 誠	(54. 6. 1～)
安達 香代	(54.12.16～)

展示委員会展示部会

氏名	任期
大給 近達	(55. 4. 1～56. 3.31)
大塚 和義	(55. 4. 1～56. 3.31)
石毛 直道	(55. 4. 1～56. 3.31)
中牧 弘允	(55. 4. 1～56. 3.31)
吉田 集而	(55. 4. 1～56. 3.31)
八村廣三郎	(55. 4. 1～56. 3.31)

展示委員会ビデオテーク資料作成部会

氏名	任期
杉本 尚次	(55. 4. 1～56. 3.31)
黒田 悦子	(55. 4. 1～56. 3.31)
野村 雅一	(55. 4. 1～56. 3.31)
大胡 修	(55. 4. 1～56. 3.31)
関本 照夫	(55. 4. 1～56. 3.31)
吉本 忍	(55. 4. 1～56. 3.31)
伊東 一郎	(55. 4. 1～56. 3.31)
大塚 和夫	(55. 4. 1～56. 3.31)
大森 康宏	(55. 4. 1～56. 3.31)

彙 報

展示場管理運営委員会

氏名	任期
祖父江孝男	(55. 4. 1~56. 3.31)
大塚 和義	(55. 4. 1~56. 3.31)
中村俊亀智	(55. 4. 1~56. 3.31)
森田 恒之	(55. 4. 1~56. 3.31)
木村 誠	(54. 4. 1~)
佐々木高明	(53. 7. 1~)
稲井 豊秀	(53. 7. 1~)
安達 香代	(54.12.16~)
佐藤 秀夫	(54.11. 1~)

広報普及委員会

氏名	任期
加藤 九祚	(55. 4. 1~56. 3.31)
君島 久子	(55. 4. 1~56. 3.31)
石毛 直道	(55. 4. 1~56. 3.31)
小山 修三	(55. 4. 1~56. 3.31)
杉田 繁治	(55. 4. 1~56. 3.31)
垂水 稔	(55. 4. 1~56. 3.31)
中山 和芳	(55. 4. 1~56. 3.31)
長野 泰彦	(55. 4. 1~56. 3.31)
秋道 智彌	(55. 4. 1~56. 3.31)
庄司 博史	(55. 4. 1~56. 3.31)
山本 紀夫	(55. 4. 1~56. 3.31)
泉 幽香	(55. 4. 1~56. 3.31)
木村 誠	(54. 6. 1~)
久保庭伊佐男	(55. 4. 1~)
稲井 豊秀	(54. 6. 1~)
村瀬 庄蔵	(54. 6. 1~)

広報普及委員会民博通信編集部会

氏名	任期
君島 久子	(55. 4. 1~56. 3.31)
垂水 稔	(55. 4. 1~56. 3.31)
中山 和芳	(55. 4. 1~56. 3.31)
長野 泰彦	(55. 4. 1~56. 3.31)
秋道 智彌	(55. 4. 1~56. 3.31)
庄司 博史	(55. 4. 1~56. 3.31)
山本 紀夫	(55. 4. 1~56. 3.31)
泉 幽香	(55. 4. 1~56. 3.31)

広報普及委員会月刊みんぱく編集部会

氏名	任期
石毛 直道	(55. 4. 1~56. 3.31)
小山 修三	(55. 4. 1~56. 3.31)
杉田 繁治	(55. 4. 1~56. 3.31)
村瀬 庄蔵	(55. 4. 1~56. 3.31)

広報普及委員会総合案内編集部会

氏名	任期
祖父江孝男	(55. 4. 1~56. 3.31)
端 信行	(55. 4. 1~56. 3.31)
藤井 龍彦	(55. 4. 1~56. 3.31)
大丸 弘	(55. 4. 1~56. 3.31)
木村 誠	(55. 4. 1~56. 3.31)
村瀬 庄蔵	(55. 4. 1~56. 3.31)
安達 香代	(55. 4. 1~56. 3.31)

出版委員会

氏名	任期
加藤 九祚	(55. 4. 1~56. 3.31)
竹村 卓二	(55. 4. 1~56. 3.31)
藤井 知昭	(55. 4. 1~56. 3.31)
和田 正平	(55. 4. 1~56. 3.31)
中村俊亀智	(55. 4. 1~56. 3.31)
垂水 稔	(55. 4. 1~56. 3.31)
吉田 集而	(55. 4. 1~56. 3.31)

出版委員会和文紀要編集部会

氏名	任期
竹村 卓二	(55. 4. 1~56. 3.31)
藤井 知昭	(55. 4. 1~56. 3.31)
和田 正平	(55. 4. 1~56. 3.31)
中村俊亀智	(55. 4. 1~56. 3.31)
垂水 稔	(55. 4. 1~56. 3.31)
吉田 集而	(55. 4. 1~56. 3.31)

環境保全委員会

氏名	任期
祖父江孝男	(51. 4. 1~)
佐々木高明	(51. 4. 1~)
伊藤 幹治	(52. 4. 1~)
加藤 九祚	(54. 5. 1~)
大給 近達	(55. 4. 1~57. 3.31)

石毛 直道 (55. 4. 1~57. 3.31)
 吉田 集而 (55. 4. 1~57. 3.31)
 木村 誠 (54. 4. 1~)
 久保庭伊佐男 (55. 4. 1~)
 稲井 豊秀 (52. 4. 1~)
 亀之園藤吉 (54. 4. 1~)
 村瀬 庄蔵 (54. 4. 1~)
 安達 香代 (54.12.16~)
 坂東 瑞昭 (53. 4. 1~)
 佐藤 秀夫 (54.11. 1~)

防災対策委員会

氏名	任期
祖父江孝男	(52. 7. 1~)
佐々木高明	(52. 7. 1~)
伊藤 幹治	(52. 7. 1~)
加藤 九祚	(54. 5. 1~)
木村 誠	(54. 4. 1~)
久保庭伊佐男	(55. 4. 1~)
稲井 豊秀	(52. 7. 1~)
亀之園藤吉	(54. 4. 1~)
村瀬 庄蔵	(54. 4. 1~)
安達 香代	(54.12.16~)
佐藤 秀夫	(54.11. 1~)
坂東 瑞昭	(53. 4. 1~)

国内資料調査委員会

氏名	任期
佐々木高明	(54. 6. 1~)
大塚 和義	(55. 4. 1~56. 3.31)
守屋 毅	(55. 4. 1~56. 3.31)
中村俊亀智	(55. 4. 1~56. 3.31)
大丸 弘	(55. 4. 1~56. 3.31)
大胡 修	(55. 4. 1~56. 3.31)
中牧 弘允	(55. 4. 1~56. 3.31)
松山 利夫	(55. 4. 1~56. 3.31)
稲井 豊秀	(54. 6. 1~)
佐藤 秀夫	(54.11. 1~)
坂東 瑞昭	(54. 6. 1~)

大学院委員会

氏名	任期
祖父江孝男	(54. 6. 1~)

佐々木高明 (54. 6. 1~)
 伊藤 幹治 (54. 6. 1~)
 加藤 九祚 (54. 6. 1~)
 和田 祐一 (55. 4. 1~56. 3.31)
 杉本 尚次 (55. 4. 1~56. 3.31)
 木村 誠 (54. 6. 1~)

大学院委員会受託学生審査委員会委員

氏名	任期
祖父江孝男	(54. 6. 1~)
佐々木高明	(54. 6. 1~)
伊藤 幹治	(54. 6. 1~)
加藤 九祚	(54. 6. 1~)
君島 久子	(55. 4. 1~56. 3.31)
竹村 卓二	(55. 4. 1~56. 3.31)
岩田 慶治	(55. 4. 1~56. 3.31)
和田 祐一	(55. 4. 1~56. 3.31)
大給 近達	(55. 4. 1~56. 3.31)
杉本 尚次	(55. 4. 1~56. 3.31)
藤井 知昭	(55. 4. 1~56. 3.31)
和田 正平	(55. 4. 1~56. 3.31)
石毛 直道	(55. 4. 1~56. 3.31)
杉田 繁治	(55. 4. 1~56. 3.31)

講堂設備整備委員会

氏名	任期
佐々木高明	(55. 4.16~56. 4.15)
大給 近達	(55. 4.16~56. 4.15)
守屋 毅	(55. 4.16~56. 4.15)
藤井 知昭	(55. 4.16~56. 4.15)
関本 照夫	(55. 4.16~56. 4.15)
大森 康宏	(55. 4.16~56. 4.15)
木村 誠	(55. 4.16~)
稲井 豊秀	(55. 4.16~)
亀之園藤吉	(55. 4.16~)
村瀬 庄蔵	(55. 4.16~)
安達 香代	(55. 4.16~)
坂東 瑞昭	(55. 4.16~)

施設整備委員会

氏名	任期
祖父江孝男	(55. 5. 8~56. 5. 7)
小谷 凱宣	(55. 5. 8~56. 5. 7)

彙 報

藤井 知昭 (55. 5. 8~56. 5. 7)
 端 信行 (55. 5. 8~56. 5. 7)

藤井 龍彦 (55. 5. 8~56. 5. 7)
 杉田 繁治 (55. 5. 8~56. 5. 7)

海外における研究・調査・収集活動

氏 名	官 職	出 発	帰 国	行 先
祖父江孝男	教授 (第1研究部)	55. 4. 7	55. 4. 22	アメリカ合衆国, メキシコ合衆国
松澤 員子	助教授 (第2研究部)	55. 4. 14	55. 5. 12	バングラデシュ, ザンビア
加藤 九祚	教授 (第4研究部)	55. 5. 5	55. 5. 21	ソビエト社会主義共和国連邦
ラドル, ケネス	外国人研究員 (第5研究部)	55. 5. 11	55. 6. 14	マレーシア, シンガポール, インドネシア
杉村 棟	助教授 (第2研究部)	55. 5. 30	56. 2. 28	アメリカ合衆国, 連合王国
周 達生	外国人研究員 (第1研究部)	55. 6. 2	55. 7. 4	中華人民共和国
松澤 員子	助教授 (第2研究部)	55. 6. 14	55. 6. 21	台湾
大胡 修	助手 (第1研究部)	55. 6. 15	55. 7. 5	台湾
佐々木高明	教授 (第2研究部)	55. 6. 17	55. 7. 4	連合王国
梅棹 忠夫	館長	55. 6. 18	55. 7. 3	中華人民共和国
加藤 九祚	教授 (第4研究部)	55. 6. 20	55. 7. 4	中華人民共和国
小山 修三	助教授 (第4研究部)	55. 6. 20	55. 7. 29	オーストラリア
大丸 弘	助教授 (第5研究部)	55. 6. 23	55. 8. 2	連合王国, フランス

来館者抄

4月4日 加藤 四郎 (大阪大学微生物病
 研究所長)
 4月8日 Magen Brosht (Curator of the
 Shrine of the Book · the Israel
 Museum · Jerusalem)
 4月11日 中国西安市訪日友好代表団
 4月14日 中国社会科学院訪日代表団
 官 郷 (団長・中国社会
 科学院副院長・北京大学教授)
 黄 逸 峰 (副団長・上海社
 会科学院院長)
 王 剛 (秘書長・中国社
 会科学院外事局副局長)
 嚴 中 平 (団員・中国社会

科学院經濟研究所副所長)
 何 方 (団員・中国社会
 科学院世界政治研究所研究
 員)
 蔡 美 彪 (団員・中国社会
 科学院近代史研究所研究員,
 通史研究室主任)
 李 澤 厚 (団員・中国社会
 科学院哲学研究所研究員, 美
 学研究室副主任)
 万 峰 (団員・中国社会
 科学院世界歴史研究所副研究
 員, アジア・アフリカ・ラテ
 ンアメリカ研究室主任)
 樊 駿 (団員・中国社会

- 科学院文学研究所副研究員，
現代文学史研究室副主任)
彭 晋 璋 (団員・中国社会
科学院外事局幹部)
- 4月23日 衛藤 瀋吉 (東京大学教授)
横山 宏 (早稲田大学教授)
中国社会科学院日本文学研究者
考察組
吴 介 民 (組長・中国社会
科学院外国文学研究所 副所
長)
李 德 純 (組員・中国社会
科学院外国文学研究所・日本
文学研究会理事)
解 莉 莉 (中国社会科学院
外事局)
- 4月24日 Thomas SEBEOK (アメリカ合衆
国インディアナ大学教授)
- 4月26日 第2回日豪発行者・編集者会議
参加者一行
グレッグ・ティラー (ジ・エ
イジ…メルボルン… 編集主
幹)
マクシミリアン・ウォルシュ
夫妻 (オーストラリアン・フ
ィナンシャル・レビュー編集
局長)
ハリー・ゴードン (クィーン
ズランド・ニュースペーパー
ズ社編集主幹)
イアン・R・マシューズ (ザ
・キャンベラ・タイムズ編集
長)
ドン・リデル (ジ・アドバタ
イザー…アデレイド… 編集
長)
ジョン・ローレンス (ザ・シ
ドニー・サン副編集長)
後藤 秀雄 (日本新聞協会国
際部)
- 4月27日 Paul M. FERROT (Assistant
Secretary for Museum Pro-
grams, Smithsonian Institution)
鈴木 俊一 (東京都知事)
5月19日 セミセセ・マラ (フィジー国首
相)
5月20日 高 沂 (中国教育部副部長)
5月27日 Mawardi YUNUS (Rector, An-
dalis RAHMAN (Andalis Uni-
versity, Indonesia)
Amoir BAKAR (Faculty of Sci-
ence, Andalas University, In-
donesia)
5月30日 中国・西北大学学術友好代表団
郭 琦 (団長・西北大学
校長)
張 岏 之 (副団長・西北大
学教授)
王 鉄 民 (秘書長)
侯 伯 宇 (西北大学教授)
王 戊 堂 (西北大学教授)
栢 春 霖 (西北大学教授)
李 汝 松 (西北大学講師)
5月31日 イコム・アジア地域博物館長会
議出席者
Amalendu BOSE (Chairman,
Indian National Committee
for ICOM, India)
Amir SUTAARGA (Director,
National Museum of Indo-
nesia, Indonesia)
J. C. YALDWYN (Director,
National Museum of New
Zealand, and Board Member,
New Zealand National Com-
mittee for ICOM, New Zea-
land)
Godofredo L. ALCASID (Di-
rector, National Museum,
Philippines)
Nan-Young LEE (Curator,

Fine Arts Department, National Museum of Korea, and Secretary, Korean National Committee for ICOM · Republic of Korea)
Chira CHONGKOL (Director, National Museum, and Secretary, Thai National Committee for ICOM, Thailand)
Janine SCHOTSMANS (Head,

ICOM Regional Agency in Asia, ICOM)

6月9日 市井 三郎 (成蹊大学)

6月16日 Sandip K. TAGORE (Faculty of Letters, Otemon Gakuin University)

P. C. VAIDYA (Vice-Chancellor, Gujarat University, India)

6月23日 ハーバート・パッシン (アメリカ合衆国・コロンビア大学教授)

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認めたる者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のシミ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当たっては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万国博記念公園
国立民族学博物館内
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

〔柳田 1942: 67-69〕

〔Leach 1961: 123〕

〔柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123〕

ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。

〔柳田 1942a: 20-22〕〔柳田 1942b: 10〕

9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。
 - (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
 - (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題(タイトル)、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本文の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』13(4): 311-330。

Bohannon, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

- 1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse.
In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language,
The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

- 1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

- 1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthro-
pology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

- 1974 『シャーマニズム——古代のエクスタシー技術——』 堀 一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

- 1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The Uni-
versity of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 5卷3号

監 修
梅 棹 忠 夫
編集委員長
加 藤 九 祚
編 集 委 員
竹 村 卓 二
垂 水 稔
中 村 俊 龜 智
藤 井 知 昭
吉 田 集 而
和 田 正 平

昭和 56 年 1 月 20 日 発 行 非 売 品

国立民族学博物館研究報告 5卷3号

編集・発行 国立民族学博物館

〒565 吹田市山田小川41-1

TEL 06 (876) 2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社

〒602 京都市上京区下立売通小川東入

TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol. 5 no. 3
September 1980

- | | |
|-------------------|--|
| AKIMICHI, Tomoya | Fundamentals of Satawalese Navigational Knowledge |
| IRIMOTO, Takashi | An Ecological Approach to the Chipe-wyan Caribou Hunting System |
| OGAWA, Ryo | Some Problems of the Pastoralism and Agriculture of the Fulbe — Jenngelbe of Senegal: A Case Study |
| KOYAMA, Shuzo | Coffee and Doughnut Project — A Note and Comment on Preferential Pattern Analysis — |
| NISHIMURA, Yasuko | Some Observations on the Japanese <i>Kimono</i> as Working-Clothes |
| HIASA, Chieko | <i>Yamabakama</i> , Japanese Traditional Trousers |
| YAMAZAKI, Mitsuko | Notes on <i>Sashiko</i> Clothes in Japan |
| RUDDLE, Kenneth | A Preliminary Survey of Fish Cultivation in Ricefields, with Special Reference to West Java, Indonesia |



National Museum
of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X